



6月市議会が24日閉会。防災・減災対策の補正予算案5億3635万円について質疑。また、一般質問では大震災の危機管理・被災者支援、自転車対策、事業仕分け、旧北高跡地の利用を取り上げました。

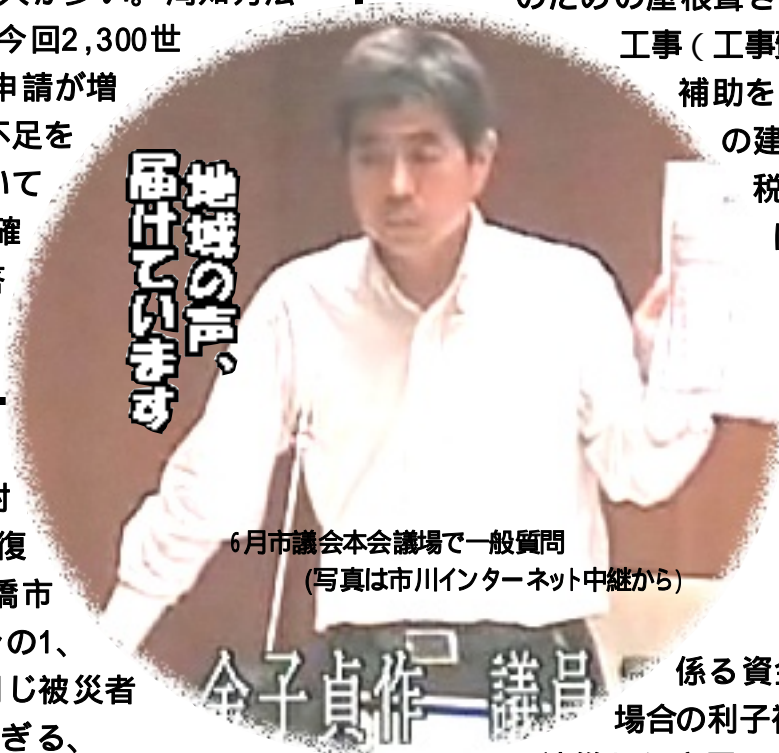


## 家具転倒防止金具 補正予算300万円増額

市は高齢者世帯、障害者世帯を対象とした家具転倒防止金具取付けに対し、1回1万円を限度に助成しています。今回の大震災で問い合わせが多くなり、6月議会で予算300万円を増額しました。

私は、「対象となる世帯は1万3千世帯あるのに昨年の申請は10件、制度を知らない人が多い。周知方法の改善」を求めました。市は「今回2,300世帯に個別に案内状を送付したら申請が増えた」と述べ、これまでの周知不足を認めました。申請の簡素化についても、「郵送も受付ける、市職員が確認に行くこともしている」と答弁。詳しくは高齢者支援課へ。

地域の声、  
届けていきます



6月市議会本会議場で一般質問  
(写真は市川インターネット中継から)

金子貞作市議員

### 半壊以下でも援助を 見舞金の支給を求める

市川市でも液状化による家屋の損壊が出ています。それに対し、浦安市は建て替えや地盤修復に一律100万円を独自支援。船橋市も、一部損壊にも工事費の2分の1、上限50万円を助成。私は、「同じ被災者に対し、近隣市と格差がありすぎる、もっと支援すべき」と要求。街づくり部長は「被害の規模の違い。液状化について国の方向が示された段階で支援の方法を考えたい」と答弁。私は「半壊以下の世帯に1万円の見舞金も出せないのか」と追及。部長は「税の減免で支援している」。私は被災者に対し冷たい市政だと批判しました。

党県議団と共に浦安市の液状化被害を視察(6月4日)



## 住宅防災リフォーム 助成制度を創設

市内北東部でプロック塀が倒壊した家



地震対策に有効なリフォーム工事に要する経費を対象としています(補正予算1200万円)。基礎、柱、はり、耐震壁及び筋かいの補強工事 軽量化のための屋根葺き替え工事 床の剛性を高める工事(工事費の2分の1限度額30万円) 補助を申請するには昭和56年以前の建物で、り災証明書の添付の上、税金の滞納がない、市内事業者  
に工事依頼が必要です。  
7月1日から受付開始。詳しくは地域街づくり推進課へ

## その他の予算

被災した家屋・家財の復旧に係る資金を金融機関から借り受けた場合の利子補給及び被災世帯貸付を行う。  
被災した家屋に対して、家屋の傾き等の基準を設け、当該年度の固定資産税等を減免する。  
防災無線が聞きにくいということから、市内限定で携帯(ドコモ)を持っている人に災害時のエリアメールを配信する。  
放射能対策として、高性能測定器を2台購入。小中学校、保育園など6カ所の測定を週一回実施する。



## 救援募金を受付けています

郵便振替の場合

【口座番号】00170-9-140321

【加入者名】日本共産党災害募金係

通信欄に「地震救援募金」と明記して下さい。





市内北部の放射線量を測定。側溝や草むらでは比較的高い値が出ています。きめ細かい測定と安全対策が必要です（簡易式測定器使用）



落葉では0.40μSVの高い測定、原発事故後の10倍の値です（6月26日北部）



党市川女性後援会と岡田県議共に原発ゼロをめざす署名宣伝を行いました（市川駅北口、6月26日）

放射能汚染

# 市独自の安全基準 対策を求める

日本共産党の谷藤市議が6月市議会の一般質問で福島原発事故による放射能汚染対策を取り上げました。その要旨を紹介します。

福島原発事故による放射能汚染は、日本の災害史上、極めて深刻な状況を呈しています。子どもたちの健康被害が懸念される中、「この数値で大丈夫なのか」市民から心配の声が寄せられています。日本共産党は、放射線量を測定して科学的データに基づいて市民に安全・安心を提供すること、そして市独自の安全基準、除染対策を要求しました。

市独自の基準は「難しい、困難」と答弁

市は「ただちに健康に影響はない」とします

放射能から子どもを守ろう



からも引き続き放射線量の測定・公表はしていく。市独自の安全基準は「難しい問題、困難」と答弁。また、側溝や芝生、除染対策については、きめ細かさについて、文科省は「年間1mSV以下をめざす」と訂正。その場合一時間当たり「0.19μSV」で、市内の測定結果ではそのほとんどが超えています（下表）

測定地点名(所在地)	地表面の状況	高さ100cm	高さ50cm	高さ1cm
じゅん菜池緑地(中国分)	アスファルト	0.37	0.34	0.42
姥山貝塚公園(柏井町)	草地	0.25	0.25	0.37
大洲防災公園(大洲)	土(砂混じり)	0.24	0.22	0.22
市役所分庁舎(南八幡)	コンクリート	0.22	0.20	0.28
原木公園(原木)	芝生	0.26	0.26	0.26
駅前公園(湊新田)	土(砂混じり)	0.15	0.13	0.17

原発ゼロをめざす署名にご協力下さい

定点調査、6月3日(金)くもり(前日雨) 測定結果(平均値マイクロシーベルト毎時) 市が実施した簡易式の測定器での結果です。毎週調査・公表、市HPで観ることができます。

## 日本共産党が提出した6月議会の意見書

国への意見書名	賛成者数	結果
看護師等の増員と夜勤改善で安全・安心の医療を求める意見書	共産5名他7名=12名	否決
地域医療と国立病院の充実を求める意見書	共産5名他5名=10名	否決
原発の撤退を決断し、期限を切ったプログラムの作成を求める意見書	共産5名他4名=9名	否決
政党助成金を廃止し、被災者救援に充てることを求める意見書	共産5名他3名=8名	否決

85%が液状化被害を受けた浦安市。右の写真は街に噴き出した砂の山です。



浦安市の街を歩くと街全体がゆがんでいる感じが受けました。左写真は道路表示がまだ曲がったままです。

6月市議会では、東日本大震災問題で31名中、24名が質問、市の防災・災害対策の強化を求めました。しかし、質問で東北等の被災地を見て来たと言った人はほとんどいませんでした。東日本大震災のもとは今年の江戸川花火大会は中止です。多額の費用を要する議員の海外視察も自粛すべきです。しかし、中国楽山市と友好親善30周年行事には議会から2名を派遣しました。この派遣に日本共産党だけが反対しました。

### 編集後記

# お気軽に 相談を

仕事  
くらしの  
悩み

連絡先 金子貞作 337-6184(夜間)